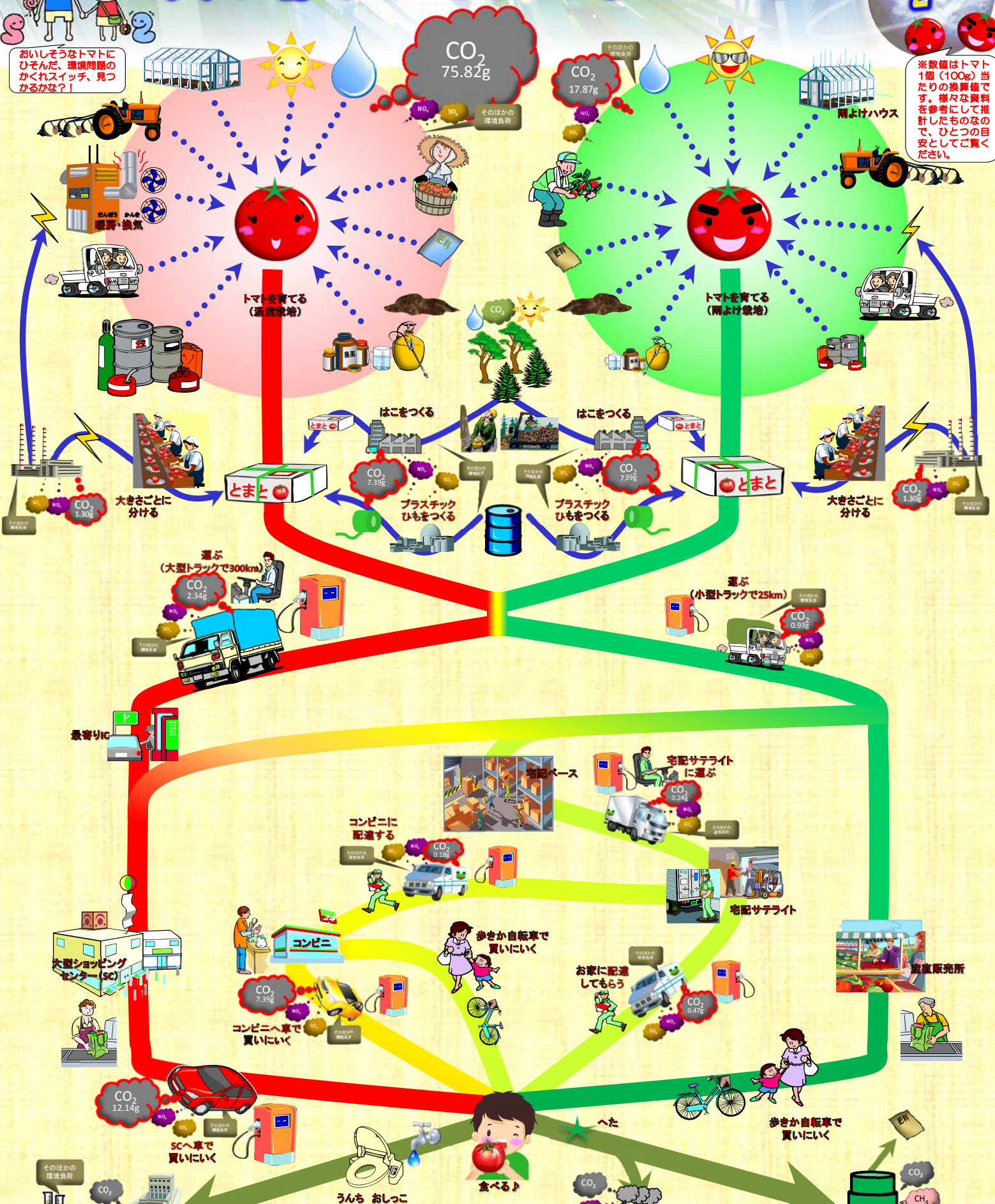


真っ赤なトマトにまつわるCO₂

おいしそうなおトマトに
ひそんだ、環境問題の
かくれスイッチ、見つ
かるかな？！

※数値はトマト
1個(100g)当
たりの換算値で
す。様々な資料
を参考にして推
計したもので、
ひとつの目安
としてご覧
ください。

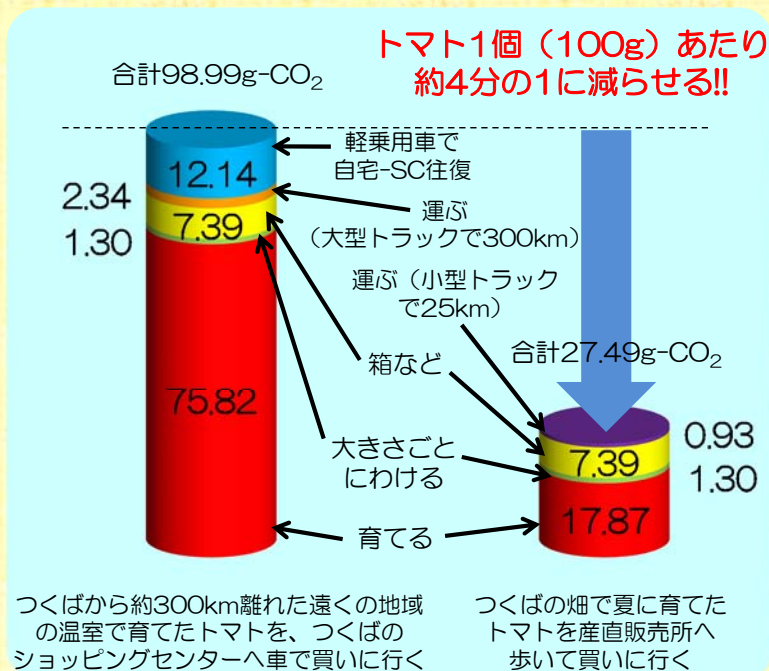


キミの合計

🍅 選び方しだいでこんなにちがう？トマトのCO₂排出量

キミが選んだトマトの道のCO₂排出量は多かったかな？少なかったかな？

右の図は、一番CO₂排出量が多くなる選び方と、一番少なくなる選び方を比べたものです。なんと、選び方ひとつで、こんなにちがいが出るんだよ！では、なぜこんなにCO₂排出量がちがうのだろう？



🍅 育て方：温室栽培と雨よけ栽培のちがい

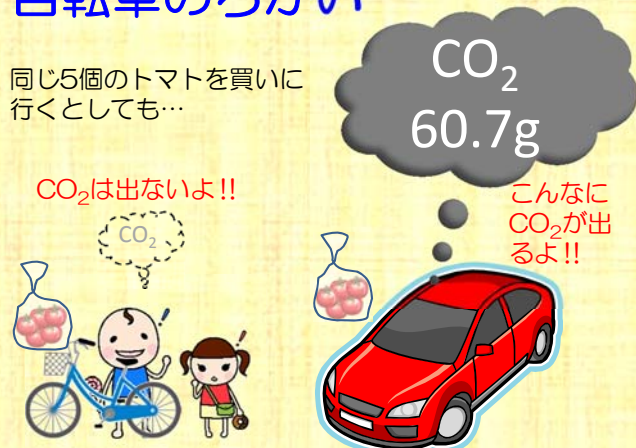
最初のページをよく見てごらん。温室栽培トマトを育てるには、雨よけ栽培トマトを育てる時に使わない暖房（だんぼう）が必要だよ。トマトがたくさんよく育ち、新鮮でおいしく食べられる時期は暑い夏！このように、農作物や食べものになる生き物がよく育って、新鮮でおいしく食べられる時期を「旬（しゅん）」というよ。この旬の時期以外、例えば寒い冬にトマトを育てるには、温室を暖房で温めて育てるしかない。暖房のためにたくさん燃料を燃やすから、たくさんCO₂が出ることになるよ。



🍅 買い物への行き方：自家用車と歩き・自転車のちがい

荷物を早く手軽に運べる自家用車は、乗っている人も楽ちんだし便利だよ。でも、車を動かすための燃料を燃やすことで排出されるCO₂は、とっても多い。それに、ほんの少しの荷物を運ぶために、燃料を燃やして重い車を動かすのは、とても効率が悪いことなんだ。（詳しくは次のページを読んでね。）

歩きや自転車で気軽に行けるところへ、軽くてかさばらないものを買うのだったら、車は使わないほうがおさいふにも環境にもおトクだよ。





大人の人といっしょに読もう！

ふだん買っているものにひそんでいるCO₂



ご家庭によっては電気、ガス、水道、ガソリン、ごみの量などを記録してCO₂排出量を計算する「環境家計簿」をつけて、年間のCO₂排出量をチェックしているかもしれませんね。でも、ちょっと待ってください。「環境家計簿」だけではチェックできない、くらしと深いつながりのあるCO₂排出量があるのです。それは、ふだん買っている食べ物や飲み物がつくられたり、運ばれたり、捨てられたりするときに出るCO₂です。

例えば、お父さんがよく飲んでいるビール。右の図のように、原料の大麦やホップを育て、工場に運んでビールにし、ビンに詰めてお店に運び、お父さんに買われるまで、色々なところでCO₂が出ています。さらに、飲み終わったビンがリユース、リサイクルされる時にも、CO₂は出ます。



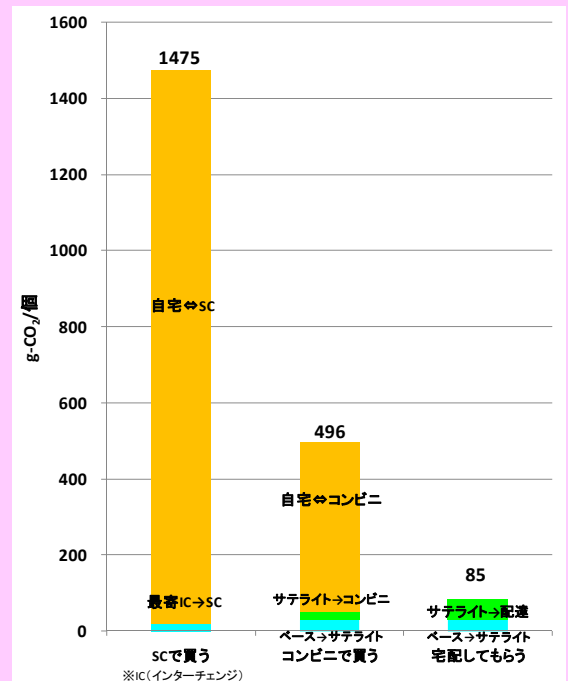
このように、商品の一生でどのくらいのCO₂が出ているかを表したものを「**カーボンフットプリント** (炭素の足あと)」といいます。左の写真は、スーパーで見つけた某社ウイナーに付いていたカーボンフットプリントマークです。1袋で434gのCO₂が出ていることを表現しています。これが商品に付いたら、なるべくCO₂排出量が少ないものを選びたい時に便利ですね。このカーボンフットプリント、計算するためのデータを集めるのが大変なので、残念ながら今はまだ表示が少ないですが、少しずつ付けられる商品が増えてきています。いつか、携帯電話やスマホで簡単にCO₂排出量をチェックできたり、買い物レシートにCO₂排出量が表示されたりして、買い物をする時の判断に使えたらいいですね。

「どこでどうやって買う?」：買い物の省エネ・省CO₂の意外なポイント

国立環境研究所(2008)の研究では、ある一定の条件を設定し、つくば市での宅配・共同購入、コンビニ、ショッピングセンター(SC)の買い物による平均的なCO₂排出量の違いを評価しています。

つくば市で1個(12kg)の商品を買う場合、市内を運ぶ分の平均CO₂排出量は、宅配を基準とするとコンビニ利用が約6倍、SC利用が約17倍になっています。SC利用では、自家用車利用で片道平均約4km走る分のCO₂排出量がとても多くなっています。それに比べれば、宅配などによるCO₂排出量はかなり少ないですね。宅配業者の環境報告書などによると、たくさんの荷物を効率よく配達できるようにルートを設定しているため、都市間を輸送する分を含めても346~391g-CO₂/荷物1個とされており、これは乗用車の片道2km走行分のCO₂排出量にしかありません。

どうやら、買い物にかかわるCO₂排出量を削減するには、宅配や共同購入を上手に活用することがポイントのようです。もちろん、ここで紹介している数値は平均値をとったものなので、実際には、自宅からお店までの距離や利用する交通手段によって結果は変わってきますし、近くのお店に自転車や



国立環境研究所(2008)の報告書p.36のグラフを元に
当室作成

徒歩で行ったり、通勤・通学や帰宅の途中にお店に寄る場合やまとめ買いをした場合も、当然CO₂排出量は異なってきます。ただ、SCに自家用車で買い物に行くことが、いかに大量のCO₂排出につながるのか、頭のすみに置いておくと、「この買い物にうちの車で行く必要はあるかな?」と考えるきっかけになるかもしれませんね。

※参考：国立環境研究所，2008，「身近な交通の見直しによる環境改善に関する研究（特別研究）平成17～19年度」，国立環境研究所特別研究報告 SR-79-2008

🍅 野菜やくだものやお魚などを買う時に思いだしてね！ CO₂排出量が少ない選び方チェックポイント

🍅 旬産旬消（しゅんさんしゅんしょう）を心がけよう！

買おうとしているものの旬はいつ？旬以外の時期に出まわっているものは、どこかでエネルギーを多く使っている（＝多くCO₂を排出している）ことが多いよ！旬の時期に取れたものを新鮮なうちに食べれば、おいしさも、栄養も満点だよ！！

🍅 地産地消（ちさんちしょう）を心がけよう！

買おうとしているものはどこで取れたもの？なるべく近いところで取れたものを選ぼう！遠くから運んでくると、それだけ運ぶための燃料を余計に使う（＝多くCO₂を排出している）ことになるし、新鮮さも落ちていく。近くで取れたものを買うことは、おいしい食べものをみんなに届けようとがんばっている、ご近所の農家さんや漁師さんなどを応援することにもなるよ！！

🍅 本当に車で買い物に行く必要があるか、考えよう！

買おうとしているものは、歩きや自転車で買いに行くには遠い場所で売っていたり、重すぎたり、かさばったりするものかな？そうでないなら、お散歩やサイクリングをかねて、歩きや自転車で買いものに行くのもいいかもね。おうちの都合でどうしても車を使わねばならないときは、なるべく多くの用事をこなしたり、エコドライブを心がけたりして、かしこく効率よく使おう！

近くでとれた旬のもの、
ぴちぴち新鮮、おいしさ満点！！
おさいふにも環境にもおトクだよ！！

